

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/9

問1 南アメリカ大陸において、大西洋側に位置するブラジルの大都市サンパウロと、太平洋側に位置するペルーの首都リマは、大陸を東西に横断するように位置しています。地図上で経緯線が10度刻み（1度を約111kmとする）で描かれていることを想定したとき、これら2都市間の直線距離として最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

1. 約3,500km 2. 約7,000km 3. 約10,500km 4. 約14,000km

問2 南アメリカ大陸の西岸に南北に伸びる高い山脈の周辺において、標高4,000m付近の寒冷な気候に適応するために行われている工夫について、正しい説明を選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. リヤマやアルパカの放牧 2. 焼畑農業によるイモ類栽培 3. 長江流域を起源とする稲作 4. 乾燥に強いオリーブの栽培

問3 南アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に約7000kmにわたって貫く、世界最長の褶曲山脈の名称として適切なものはどれですか。（2021年 京都公立入試 類似）

1. アンデス山脈 2. ロッキー山脈 3. ヒマラヤ山脈 4. ウラル山脈

問4 中国、アメリカ、ブラジル、日本、オーストラリアの5か国の統計において、自動車の総生産台数は他の4か国に比べて少ないものの、人口100人あたりの自動車保有台数が非常に多く、結果として二酸化炭素排出量も多くなっている国はどこか、名称を答えなさい。（2017年 静岡公立入試 類似）

1. オーストラリア 2. 中国 3. ブラジル 4. 日本

問5 ブラジルで普及しているバイオエタノールなどのバイオ燃料は、再生可能エネルギーの一つとして注目されています。この燃料を利用することが地球温暖化の抑制に貢献すると考えられているのはなぜですか。その仕組みについて説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。（2025年 福岡県公立入試 類似）

1. 原料となる植物が成長する際に光合成で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に排出される量と実質的に相殺されるから。 2. 従来の化石燃料に比べて燃焼効率が非常に高く、同じエネルギー量を得るために必要な燃料の総量を大幅に削減できるから。 3. 水力発電と同様に、製造から燃焼に至るまでの全工程において温室効果ガスを一切排出しない仕組みが確立されているから。 4. アルミニウムの原料であるボーキサイトの精錬過程で発生する副産物を利用しており、廃棄物の削減に直接つながるから。

問6 日本とオーストラリアの貿易関係について、2022年の統計に基づいた状況を説明したものととして、正しい内容はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 日本への輸入総額は約11兆6千億円に達し、品目別では石炭が45パーセント近くを占めている。 2. 日本への輸入総額は約5千億円にとどまり、羊毛や牛肉などの農畜産物が輸入の過半数となっている。 3. 日本への輸入総額は約500億円まで減少しており、オーストラリアは日本の貿易相手国としての順位を大きく下げている。 4. 日本への輸入総額は約11兆6千億円に達しているが、その約8割は現地で生産された自動車などの工業製品である。

問7 2020年の統計資料によると、1平方キロメートルあたりの人口密度について、日本が約339人、中国が約143人、ブラジルが約34人という数値を示しています。これに対し、広大な国土を持ちながらも人口密度がわずか3人と極めて低い数値を示している、オセアニア州に属する国はどこですか。（2022年 愛媛公立入試 類似）

1. オーストラリア 2. ニューージーランド 3. インドネシア 4. フィリピン

問8 南アメリカ州のアンデス山脈に位置し、16世紀にスペイン人によって標高3000mを超える高地に建設された都市を有する国があります。この国の資源や産業の特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. かつては銀の採掘で栄えた歴史を持ち、現代では塩湖からリチウムイオン電池の原料となるリチウムが採取されている。 2. 広大な熱帯雨林を背景に、世界最大の鉄鉱石の産出地として知られ、近年はバイオ燃料の原料となるサトウキビ栽培が盛んである。 3. パンパと呼ばれる肥沃な平原での小麦栽培や牛の放牧が盛んであり、牛肉の輸出が国家経済を支える重要な産業となっている。 4. 地中海性気候を利用したブドウやオリーブの栽培が盛んであり、輸出向けにワインの製造を行う農業が発達している。

問9 南アメリカ大陸の地形と海洋の関係について述べた次の文のうち、正しいもの一つを選びなさい。南アメリカ大陸は、西側の海岸線が険しいアンデス山脈を挟んで太平洋に面しているのに対し、アルゼンチンなどの諸国が位置する大陸の東側の海岸線は、別の大きな海洋に面しています。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 大西洋 2. 太平洋 3. インド洋 4. 北極海

答え合わせ・解説

問1	答え 1 約3,500km	南アメリカ大陸の東西の広がり把握する上で、サンパウロとリマの距離は約3,500kmであることを指標にします。これは日本列島の長さ(約3,000km)を上回る距離であり、大陸がいかに広大であるかを示しています。地球一周が約40,000kmであることを考慮すると、一つの大陸の横断距離として3,500kmという数値は妥当な範囲内となります。
問2	答え 1 リャマやアルパカの放牧	標高4,000m付近は酸素が薄く、気温も非常に低いため、植物の生育が制限されます。こうした環境下で、人々はアンデス山脈に古くから生息するリャマやアルパカを放牧することで、厳しい自然環境の中でも生存可能な生活体系を築いてきました。これらは高地生活において欠かせない家畜となっています。
問3	答え 1 アンデス山脈	南アメリカ大陸の太平洋側に沿って形成された巨大な褶曲山脈であり、環太平洋造山帯の一部です。世界で最も長い山脈として知られ、高地にはかつてインカ帝国が築かれるなど、独自の歴史と文化が育まれました。
問4	答え 1 オーストラリア	自動車の総生産台数が他国より少ないのは、人口規模が約2500万人と比較的小さいため、国内の市場規模や労働力が限定的だからです。一方で、広大な国土に都市が分散しているという地理的な要因から、市民の生活において自動車への依存度が高くなっており、人口100人あたりの自動車保有台数は世界でもトップクラスの数値を示します。また、移動距離の長さや自動車への依存が、一人あたりの二酸化炭素排出量を押し上げる一因となっています。
問5	答え 1 原料となる植物が成長する際に光合成で二酸化炭素を吸収するため、燃焼時に排出される量と実質的に相殺されるから。	植物を原料とするバイオ燃料は、燃やすことで二酸化炭素を排出しますが、その二酸化炭素はもともと植物が成長過程で大気中から取り込んだものです。このように、ライフサイクル全体で見るとときに大気中の二酸化炭素量を増やさないという考え方を「カーボンニュートラル」と呼び、地球温暖化対策として重視されています。ブラジルはこの分野で世界をリードする国の一つです。
問6	答え 1 日本への輸入総額は約11兆6千億円に達し、品目別では石炭が45パーセント近くを占めている。	2022年におけるオーストラリアから日本への輸入額は11兆6224億円余りに達しました。オーストラリアは石炭や鉄鉱石、液化天然ガス(LNG)といった鉱産資源の主要な供給元であり、特に石炭は輸入全体の約45%を占める極めて重要な品目となっています。
問7	答え 1 オーストラリア	オーストラリアは日本の約20倍という広大な国土面積を持っていますが、総人口は約2,600万人程度(2020年時点)にとどまります。そのため、1平方キロメートルあたりの人口密度を算出すると約3人となり、世界的に見ても人口密度が非常に低い国として知られています。一方で、比較対象として示された339人は日本、143人は中国、34人はブラジルの統計値に相当します。
問8	答え 1 かつては銀の採掘で栄えた歴史を持ち、現代では塩湖からリチウムイオン電池の原料となるリチウムが採取されている。	ボリビアは南アメリカ州の内陸国で、アンデス山脈の高地にラパスなどの主要都市があります。16世紀のスペイン植民地時代にはポトシ銀山などで銀が大量に採掘され、世界経済に大きな影響を与えました。現代では、ウユニ塩湖などに埋蔵されているリチウムが、スマートフォンや電気自動車のバッテリー原料として注目されており、豊富な地下資源を活かした産業が展開されています。
問9	答え 1 大西洋	南アメリカ大陸は、西側が太平洋、東側が大西洋という2つの大きな海洋に挟まれています。アルゼンチンの首都ブエノスアイレスなどの主要な港湾都市は、広大な大西洋に面した東側の沿岸部に位置しており、歴史的にもヨーロッパとの貿易の玄関口として発展してきました。